

民生教育常任委員会視察報告

民生教育常任委員会は「子育て支援・学力向上事業」を課題に調査しており、次のとおり行政視察しました。

秋田市

子ども未来センター

秋田市では子育て不安や悩みを解消する対策として、秋田駅に直結し商業・福祉施設が連携・機能された秋田拠点センターアルヴェ5Fに子ども未来センターが開設されている。相談業務や親



▲横手市視察の様子

横手市では思考力・判断力・表現力等を育成するため、平成23年度までに市内全小中学校を指定した「言語活動の充実に係る研究指定事業」を推進してきた。平成24年からは「言語活動の充実」の育成に取り組み学力向上の成果が上がっている。平成27年度では教員指導主事6名が年間130回、県同行では年間20回学級訪問を予定している。また、各学校図書館に司書補助員の配置や臨時講師や教育専門監を活用し授業等の質的向上を図るなど教育現場の充実にも努めている。

横手市教育委員会

子広場の提供のほか、地域全体で子育て支援に取り組めるよう市内7地域で保護者やボランティアと連携・研修を行っている。また、「子育てクーポン券」を配布し各施設の使用料等を補助している。

産業建設常任委員会視察報告

産業建設委員会は「産業の振興と雇用対策」を課題に10月20日から22日

までの3日間、米沢市・鶴岡市・にかほ市、3市の行政視察を行いました。

米沢市の「田んぼアト米作り体験事業」は、農業体験を通じ都市住民と地元住民の交流を図ると共に、観光都市米沢のPRを目的とした事業で、市・農業・観光等の関係機関で協議会を設置、運営していますが、費用対効果もあり、観光事業に



▲にかほ市そば工房視察の様子

大きな成果をもたらしています。

鶴岡市の「バイオを核とした高度な産業集積促進事業」

では大学や民間の研究機関が組織し、医療・環境・食品などのバイオ研究に当たっており、多くの雇用を生み出しています。また「再生可能エネルギー導入拡大事業」では木質バイオエネルギーや太陽光発電と共に農業水利施設等を生かした小規模水力発電にも取り組んでいます。

にかほ市の6次産業

は「にかほ市そば工房」を視察、原そばの出荷と共にそばの加工製品を出荷し成果を上げています。また観光事業ではANAとの「地域協働協定」を始め「ふるさと宣伝大使」や新潟・山形・秋田3県10市町の観光連携組織について学ぶなど、視察研修は実り多い研修でした。

議員定数と報酬等並びに政治倫理のあり方に関する調査特別委員会中間報告

平成26年11月4日同委員会の設置が決まり調査事項は

- ①議員定数について
- ②議員報酬について
- ③政務活動費について
- ④市議会議員に関する政治倫理基準（団体役員への就任等含む）についてとしました。

11月11日の第1回委員会から平成27年12月1日まで計8回の委員会を開催し、宮城県内および全国同規模自治体の状況などについて調査を重ねてきました。また、4項目について専門講師による研修会に参加し、全国の動向やそれぞれについての考え方について研修しています。

これまでの調査では、定数については平成17年合併当初の26人から

平成25年の18人へと段階的に削減しており、現在は全国同規模自治体の平均と約同数であること。削減効果として、平成21年から6年間の人件費が2億1624万7200円減額しています。

報酬については、県内13市中最低で全国同規模自治体では40市中29番目となっています。政務活動費については現在、月額1万円となっています。倫理基準については、補助金交付団体の役員の就任について議論がされています。

今後、これまでの調査、各委員の意見を取りまとめ議長に対して調査報告をし、調査を終了します。